

スマホやパソコンに関心のある方 視覚障がい者のためのスマホサポートをしませんか

明石・加古川・姫路で活動

姫路デジタルサポート

今や、スマホやパソコンなど ICT は、「見えない」「見えにくい」方にとって必須の生活ツールとなっていますが、独学で使い方を学習するのは困難です。そこで、私たちは視覚障がい者を対象にスマホの使い方について講習やサポートなどを行っています。

視覚障がい者の スマホ教室の見学を！

スマホ教室等を3市で開催しています。

- ・明石：月1回、アスピア明石
- ・加古川：月1回、加古川市総合福祉会館
- ・姫路：月3回、姫路市総合福祉会館

詳細は
右記 QR コードで。



どうやって iPhone を使うの？

画面がツルツルの iPhone をどのように使うのでしょうか。iPhone の VoiceOver という画面読み上げ機能を使って操作を行います。音声による案内に対して、指の動き（ジェスチャーといいます）で応えて操作を行います。

VoiceOver の操作は複雑なので、講習会等では各ユーザーにアドバイスをするサポーターが必要です。



(iPhone の画面)

スマホサポーター募集

私たちと一緒に視覚障がい者のスマホサポート活動をしませんか。サポート方法については研修会などで学習していただきますので、安心して活動ができます。希望される方はメールまたは電話で連絡ください。

- ・姫路デジタルサポート(ボランティア団体)

Tel: 079-228-5856

(姫路デジタルサポートあての
メール QR コード)



- ・協働団体：姫路市・加古川市・明石市視覚障害者福祉協会

デジタルデバイス

視覚障がい者の iPhone の操作方法について YouTube でも紹介されています。



なぜ iPhone が普及しないの？

iPhone を使わない理由の一つは、「ICT の使い方を教えてくれるところがない」からです。次いで、「iPhone がいかに暮らしを便利にするかが知られていない」「使えるかどうか不安」などです。



(姫路デジタルサポートの活動 QR コード)

iPhone への乗り換え

現在ガラケーを利用している方から「iPhone を使ってみたいが、iPhone に乗り換えて、うまく使えるかどうか不安なので、なかなか iPhone の購入に踏み切れない」という話を聞きます。

私たちは、このような方に「スタータープログラム」を準備し、乗り換え直前直後の集中的なサポートを行ないます。

現在、社会のデジタル化が急速に進んでいます。例えば、ワクチン接種証明、各種行政サービスが利用できるマイナポータルなどは、スマホやパソコンの利用が前提となっています。

しかし、視覚障がい者の中で ICT を有効に活用している人は2割にも満たないのが実情です。「使える人」と「使えない人」との間の格差が危惧されます。



iPhone で視覚の代行、歩行の補助

iPhone は、電話やメール以外にも、視覚を一部代行する機能、歩行を補助する機能などがあり、便利なくらしに役立ちます。

- ・薬や各種カードを識別し、薬の処方やカードの名前を読み上げます。
- ・郵便物の差出人や文書を読み上げます。
- ・歩行中、近くのお店や施設と目的地までの方位と距離を知らせてくれ、歩行も楽しくなるでしょう。



「視覚障がい者のためのスマホ教室」の様子